



2011年3月期第2四半期決算説明会

新日本製鐵株式會社
2010年10月27日

先進のその先へ、新日鉄

www.nsc.co.jp

Copyright(C)2010 NIPPON STEEL Corporation All Rights Reserved

本日の内容

1. 2011年3月期第2四半期決算実績
2. 2011年3月期年度損益見通しについて
3. 中期的課題への取り組み状況のご紹介
4. ご参考

執行役員 太田 克彦

1. 2011年3月期第2四半期決算実績

2011年3月期上期 連結決算実績概況

(億円)

2008年度実績

売上高 47,698億円
 經常損益 3,361億円 当期損益 1,550億円

当社鋼材出荷量(万t)

808 829 712 471

売上高 11,985 14,035 12,280

經常損益 1,440 9,396 7,450

当期損益 1,181 789

827 504

2008 2008
4-6月 7-9月

2008上期実績

売上高 26,021億円
 經常損益 2,622億円
 当期損益 1,616億円

2009年度実績

売上高 34,877億円
 經常損益 118億円 当期損益 -115億円

473 674 760 802

8,282 9,118 10,024

7,450 8,282 9,118

当期損益 827 789

504 -570 -422 -302 295

-566 -422 -302 295

2009 2009 2009 2010
4-6月 7-9月 10-12月 1-3月

2009上期実績

売上高 15,733億円
 經常損益 -869億円
 当期損益 -718億円

2009下期実績

売上高 19,143億円
 經常損益 987億円
 当期損益 603億円

2010年度 上期実績

当社鋼材出荷量(万t)

776 784

売上高 9,706 10,514

經常損益 9,706 10,024

当期損益 618 729

268 442

618 268 729 442

2010 2010
4-6月 7-9月

2010上期実績

売上高 20,220億円
 經常損益 1,348億円
 当期損益 710億円



2011年3月期上期 損益実績(連結・単独)

(単位:億円)

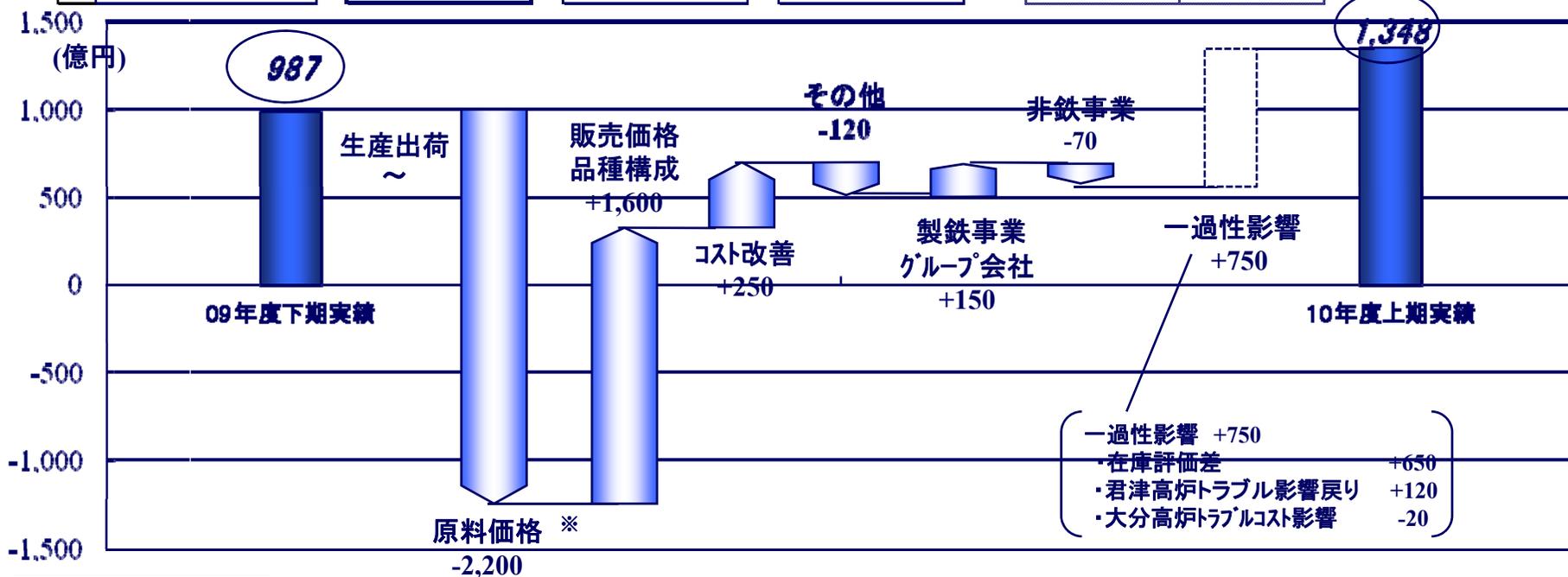
	10年度 上期実績 (A)		09年度 下期実績 (B)	増減 (A←B)	
	1Q実績	2Q実績			
売上高	9,706	10,514	20,220	19,143	+1,077
営業損益	510	670	1,181	1,034	+147
経常損益	618	729	1,348	987	+361
単独	422	185	608	349	+259
グループ会社等	196	544	740	638	+102
特別損益	-72	-	-72	58	-130
当期損益	268	442	710	603	+107
<一株当たり当期損益>	<4.3>	<7.0>	<11.3>	<9.6>	<+1.7>
有利子負債残高	13,744	13,821	13,837	13,837	-16
D/E レシオ	0.78	0.77	0.75	0.75	+0.02

2011年3月期上期 連結損益実績分析(対前年度下期)

(単位:億円)	10年度 上期実績 (A)	09年度 下期実績 (B)	増減 (A←B)	10年度上期 前回見通し (C)	増減 (A←C)
売上高	20,220	19,143	+1,077	20,500	-280
経常損益	1,348	987	+361	1,250	+98
単独	608	349	+259	600	+8
鉄グループ会社	567	416	+151	500	+67
非鉄	220	286	-66	185	+35
調整額	-48	-65	+17	-35	-13

対前回見通し
+98億円

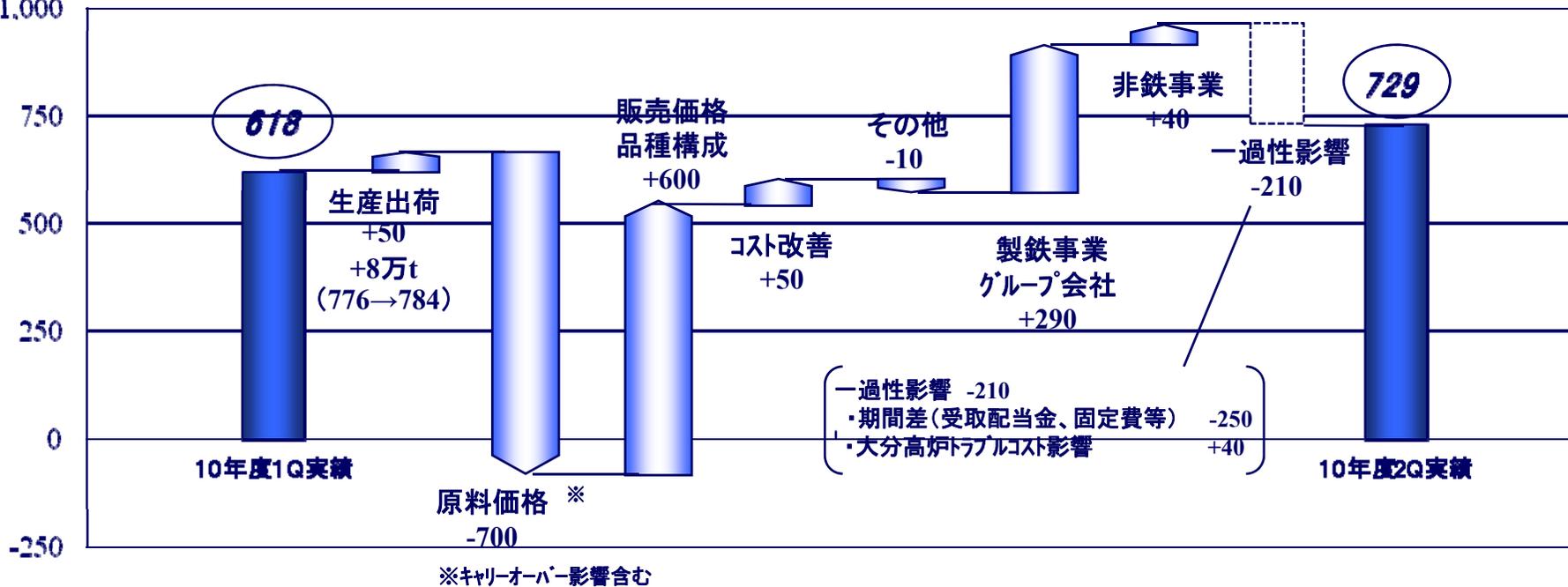
- > 製鉄事業 +80
 - ・原料価格 +50
 - ・販売価格・構成 -50
 - ・在庫評価差 -50
 - ・その他 +60
 - ・グループ会社 +70
- > 非鉄事業等 +30
- > 調整額 -10



2011年3月期第2四半期 連結損益実績分析(対第1四半期)

(単位:億円)	10年度上期		10年度上期 実績	増減 (A → B)
	1Q実績 (A)	2Q実績 (B)		
売上高	9,706	10,514	20,220	+808
経常損益	618	729	1,348	+111
単独	422	185	608	-237
鉄グループ会社	141	426	567	+285
非鉄	90	130	220	+40
調整額	-35	-12	-48	+23

(億円)
1,000



2011年3月期上期 セグメント別損益実績(対前年同期)

(単位:億円)

	10年度上期実績 (A)		売上高 経常利益率	09年度上期実績 (B)		売上高 経常利益率	増減(A←B)	
	売上高	経常損益		売上高	経常損益		売上高	経常損益
連 結 計	20,220	1,348	6.7%	15,733	-869	-5.5%	+4,487	+2,217
製 鉄	17,186	1,176	6.8%	12,595	-1,052	-8.4%	+4,591	+2,228
非 鉄 計	3,615	220		3,842	232		-227	-12
エンジニアリング	1,236	70	5.7%	1,548	119	7.7%	-312	-49
都市開発	387	42	10.9%	438	24	5.5%	-51	+18
化学	944	49	5.2%	865	47	5.5%	+79	+2
新素材	309	15	4.9%	291	-1	-0.4%	+18	+16
システムソリューション	737	44	6.0%	698	42	6.1%	+39	+2
調 整 額	-580	-48		-703	-49		+123	+1

第1四半期より、セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、セグメント別損益は、経常損益ベースにて記載

製鉄以外5事業セグメントの概況

		10年度 上期実績	対前年 同期比	概況
(億円)				
エンジニアリング 製鉄プラント、環境ソリューション、 海洋、エネルギー、橋梁、建築	売上高	1,236	-312	前年度受注規模減少等の影響により、売上高・経常損益ともに大幅な減収減益。
	経常損益	70	-49	
都市開発 住宅、都市開発、 大規模地域開発、ビルマネジメント	売上高	387	-51	前年同期に都心大型マンションの引渡しが集中したため売上高は減少するも、市況回復に伴う収益性向上により増益。
	経常損益	42	+18	
化学 コーティング材、化学品、機能材料	売上高	944	+79	売上高は、化学品の市況上昇等により79億円の増収。 経常損益は、ニードルコアの生産出荷増の増収要因はあったが、化学品事業における大型修繕の影響で2億円の増収に止まる。
	経常損益	49	+2	
新素材 半導体・電子産業部材、 産業基礎部材、エネルギー・環境部材	売上高	309	+18	半導体・電子部材需要は、2/4期に一部の事業で調整局面に入ったものの、金融危機前を超える水準で拡大。
	経常損益	15	+16	
システムソリューション 業務ソリューション、基盤ソリューション ビジネスサービス	売上高	737	+39	売上高はビジネスサービスを中心に対前年増収。利益については、案件構成の悪化や競争激化等に伴う売上高総利益率の低下を、増収に伴う売上総利益の増加及び販管費の削減によりカバーし、対前年増益。
	経常損益	44	+2	
非鉄計	売上高	3,615	-227	
	経常損益	220	-12	

主要上場グループ会社等損益実績

<2010年10月27日時点>

会社名	決算発表日	(億円)	09年度 実績	10年度 1Q実績	10年度 上期実績	10年度 年度見通し
-----	-------	------	------------	--------------	--------------	---------------

■ 製鉄事業

大阪製鐵 [上場] 5449	連 62%	2010/10/28	売上高	637	182	N.A.	N.A.
			経常利益	76	32	N.A.	N.A.
			当期損益	42	33	N.A.	N.A.
鈴木金属工業 [上場] 5657	連 66%	2010/10/29	売上高	349	127	N.A.	N.A.
			経常利益	5	7	N.A.	N.A.
			当期損益	-0	2	N.A.	N.A.
新日鐵住金ステンレス [非上場]	連 80%	2010/10/27	売上高	1,977	641	1,281	N.A.
			経常利益	19	-19	-19	N.A.
			当期損益	10	-12	-8	N.A.
日鐵商事 [上場] 9810	持 34%	2010/10/28	売上高	9,196	2,559	N.A.	N.A.
			経常利益	78	28	N.A.	N.A.
			当期損益	52	16	N.A.	N.A.
太平工業 [上場] 1819	持 39%	2010/11/2	売上高	1,676	339	N.A.	N.A.
			経常利益	143	21	N.A.	N.A.
			当期損益	76	12	N.A.	N.A.
黒崎播磨 [上場] 5352	持 46%	2010/11/10	売上高	828	237	N.A.	N.A.
			経常利益	30	15	N.A.	N.A.
			当期損益	39	9	N.A.	N.A.

■ 非鉄事業

新日鐵化学 [非上場]	連 100%	2010/10/27	売上高	1,793	459	944	1,900
			経常利益	91	17	49	100
			当期損益	62	25	42	N.A.
新日鐵ソリューションズ [上場] 2327	連 67%	2010/10/27	売上高	1,522	339	737	1,600
			経常利益	112	19	44	120
			当期損益	63	10	15	67

2010年度第二四半期末

当社連結対象会社数 : 325社

対前期末 -3社

: 増 +8社(うち、海外+6社*)

減-11社

* Nippon Steel Pipe Vietnam他

(連結子会社 : 252社
持分法適用関連会社 : 73社)

<主な変動>

2010年7月

新日鐵エンジニアリング、RHFに関する
中国馬鞍山鋼鉄関連会社との
合併会社の設立

2010年7月

新日鐵マテリアルズグループ組織再編
(マイクロン(株)、日鉄コンポジット(株)と
新日鐵マテリアルズの3社合併)

連結貸借対照表 (2010/3月末→9月末)

(単位: 億円)

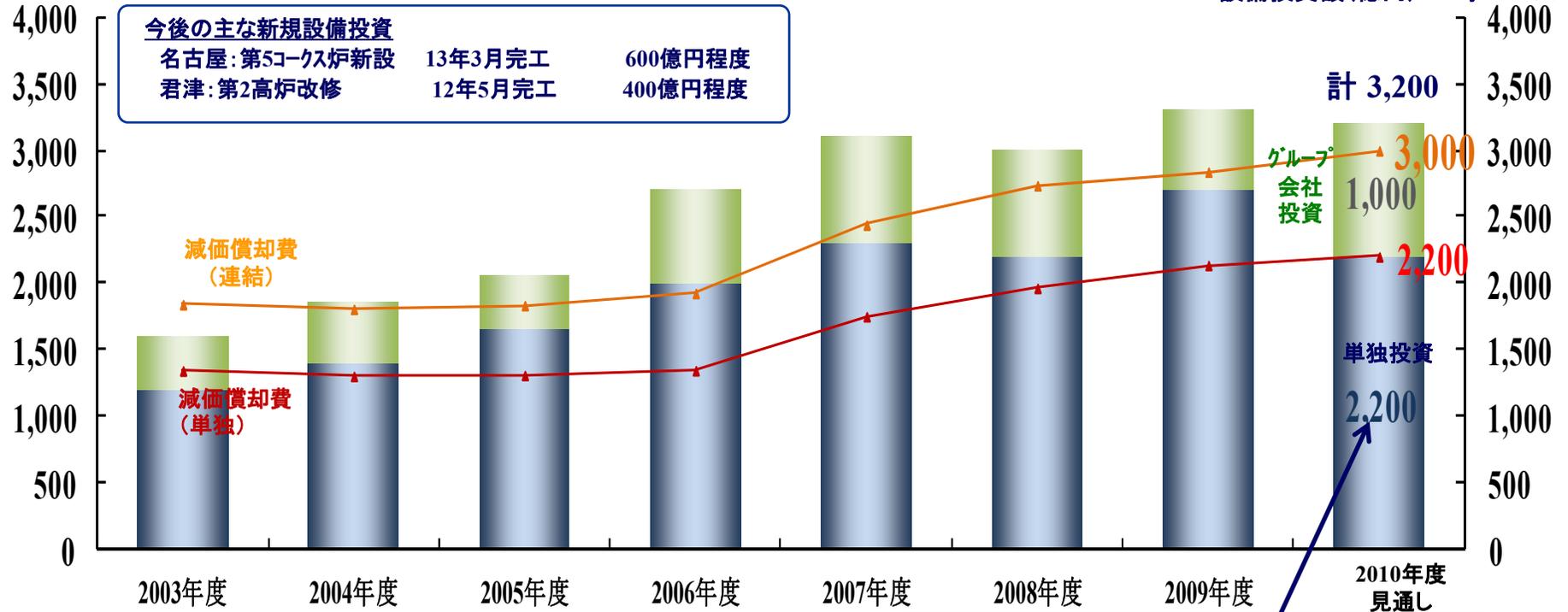
資産の部	10/09末	10/03末	増減	負債及び純資産の部	10/09末	10/03末	増減
流動資産	16,717	16,421	+296	流動負債	13,133	13,700	-567
現金及び預金	718	781	-63	支払手形及び買掛金	4,649	4,498	+151
受取手形及び売掛金	4,083	4,578	-495	短期借入金・コマーシャルペーパー・社債	3,427	3,827	-400
たな卸資産	9,413	8,547	+866	その他	5,057	5,374	-317
その他	2,502	2,514	-12	固定負債	12,939	12,966	-27
固定資産	32,424	33,602	-1,178	社債・長期借入金	10,307	9,918	+389
有形	18,575	18,783	-208	その他	2,632	3,047	-415
無形	514	468	+46	負債計	26,073	26,667	-594
投資等	13,334	14,349	-1,015	株主資本	17,740	17,131	+609
(うち時価評価差額)	(1,450)	(2,657)	(-1,207)	評価・換算差額	326	1,312	-986
				少数株主持分	5,001	4,912	+89
				純資産計	23,068	23,356	-288
資産計	49,141	50,023	-882	負債及び純資産計	49,141	50,023	-882

設備投資・減価償却費

上段：連結 (下段：単独)	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 見通し
設備投資額	1,600 (1,200)	1,850 (1,400)	2,050 (1,650)	2,700 (2,000)	3,100 (2,300)	3,000 (2,200)	3,300 (2,700)	3,200 (2,200)
減価償却費	1,840 (1,340)	1,805 (1,299)	1,833 (1,306)	1,925 (1,342)	2,440 (1,749)	2,737 (1,963)	2,840 (2,136)	3,000 (2,200)

減価償却費(億円)

設備投資額(億円) 工事ベース



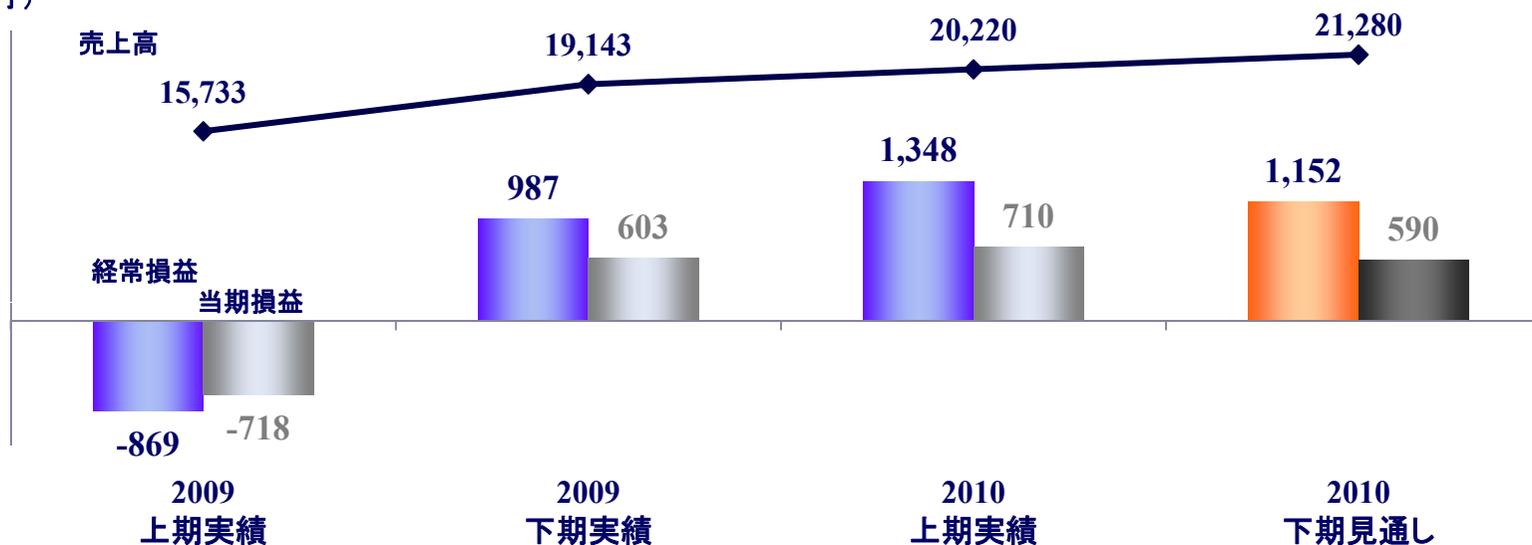
能力増強・高級鋼対応 コスト削減
老朽更新・補修 製造基盤整備・安全防災環境

2. 2011年3月期損益見通し

2011年3月期 年度決算見通し

(億円)	10年度見通し (A)			09年度実績 (B)			増減 (A→B)	10年度見 (7/28公表) 暫定値
	上期実績	下期見通し		上期実績	下期実績			
売上高	20,220	21,280	41,500	15,733	19,143	34,877	+6,623	
営業損益	1,181	919	2,100	-714	1,034	320	+1,780	
経常損益	1,348	1,152	2,500	-869	987	118	+2,382	2,500
単独	608	392	1,000	-1,299	349	-949	+1,949	1,000
グループ会社等	740	760	1,500	430	638	1,067	+433	
特別損益	-72	-	-72	-64	58	-5	-67	
当期損益	710	590	1,300	-718	603	-115	+1,415	
<一株当たり当期損益>	<11.3>	<9.4>	<20.7>	<-11.4>	<9.6>	<-1.8>	<+22.5>	

(億円)



2011年3月期 セグメント別損益実績(対前年比)

(単位:億円)

	10年度見通し (A)		売上高 経常利益率	09年度実績 (B)		売上高 経常利益率	増減(A←B)	
	売上高	経常損益		売上高	経常損益		売上高	経常損益
連 結 計	41,500	2,500	6.0%	34,877	118	0.3%	+6,623	+2,382
製 鉄	35,000	2,150	6.1%	28,231	-285	-1.0%	+6,769	+2,435
非 鉄 計	7,800	440		8,024	519		-224	-79
エンジニアリング	2,700	140	5.2%	3,319	292	8.8%	-619	-152
都市開発	900	60	6.7%	800	17	2.1%	+100	+43
化学	1,900	100	5.3%	1,794	91	5.1%	+106	+9
新 素 材	700	20	2.9%	587	5	1.0%	+113	+15
システム ソリューション	1,600	120	7.5%	1,522	111	7.3%	+78	+9
調 整 額	-1,300	-90		-1,379	-115		+79	+25

第1四半期より、セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、セグメント別損益は、経常損益ベースにて記載

製鉄以外5事業セグメントの概況

		10年度 見通し	対前年比	概況
(億円)				
エンジニアリング 製鉄プラント、環境ソリューション、 海洋、エネルギー、橋梁、建築	売上高	2,700	-619	前年度受注規模減少等の影響により、売上高・経常損益ともに大幅な減収減益となる見通したが、今年度の受注は回復途上。
	経常損益	140	-152	
都市開発 住宅、都市開発、 大規模地域開発、ビルマネジメント	売上高	900	+100	マンション市況回復に伴う収益性向上により増収増益。
	経常損益	60	+43	
化学 コーティング材、化学品、機能材料	売上高	1,900	+106	売上高は、ニードルコックス生産出荷量増や化学品の市況回復の影響等で増収の見通し。 経常損益は化学品のマージン低迷等あるものの、ニードルコックスを主とした数量増の好転により増益の見通し。
	経常損益	100	+9	
新素材 半導体・電子産業部材、 産業基礎部材、エネルギー・環境部材	売上高	700	+113	半導体・電子部材需要は、3/四期に入っても一部事業での調整局面継続が懸念されるが、全般的には堅調に推移する見通し
	経常損益	20	+15	
システムソリューション 業務ソリューション、基盤ソリューション ビジネスサービス	売上高	1,600	+78	顧客企業のシステム投資動向に不透明感があり、ベンダー間の競争も激化しているものの、事業規模の確保・拡大及びコスト競争力強化に取り組み、対前年増収増益の見通し。
	経常損益	120	+9	
非鉄計	売上高	7,800	-224	
	経常損益	440	-79	

剰余金の配当(第2四半期末)について

当第2四半期末(中間期末)の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、誠に遺憾ではありますが、実施を見送ることとさせていただきました。

なお、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、公表致します。

3. 中期的課題への取り組み状況のご紹介

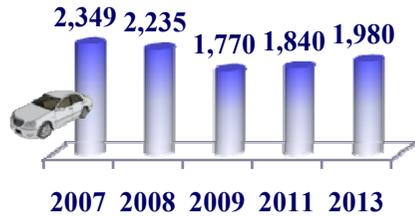
新たな成長軌道の構築に向けて <2010年1月28日公表>

伸びゆく海外マーケットの成長需要・地域ニーズの的確な捕捉

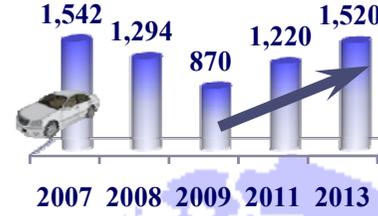


総合力No.1企業に相応しい企業体質・成長力・収益力を有する
真の「グローバル企業グループ」の実現

1. グローバル自動車用鋼板等供給体制



海外JV生産合計
650万トン
(当社持分換算
300万トン程度)

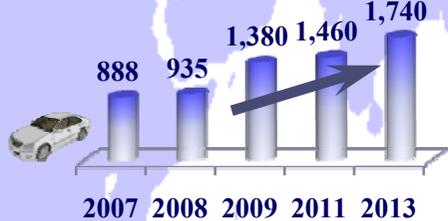


米国
I/N Tek 40%
I/N Kote 50%

欧州
Arcelor Mittal社/技術クロスライセンス

中国
BNA 38%

[冷延176万トン/CAPL95万トン/CG80万トン]
#3CGLライン[45万トン]稼働(2010年2月)



新日鉄

北中米
[冷延170万ショートトン/CAPL120万ショートトン]
[CG50万ショートトン/EG45万ショートトン]

メキシコ
TENIGAL 49%

新CGLライン[40万トン]稼働(2013年)



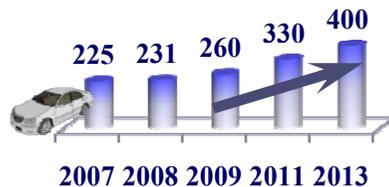
タイ
SUS 45%

[冷延 100万トン]



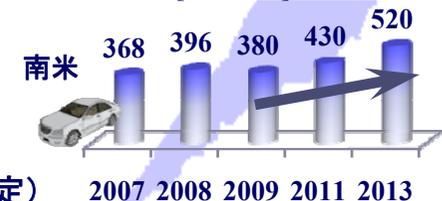
インド
TATA社とのJV 49%

新冷延ライン[60万トン]稼働(2012年度中)



ブラジル
UNIGAL 30%

[CG 48万トン]
#2CGLライン[55万トン]増設(2011年)

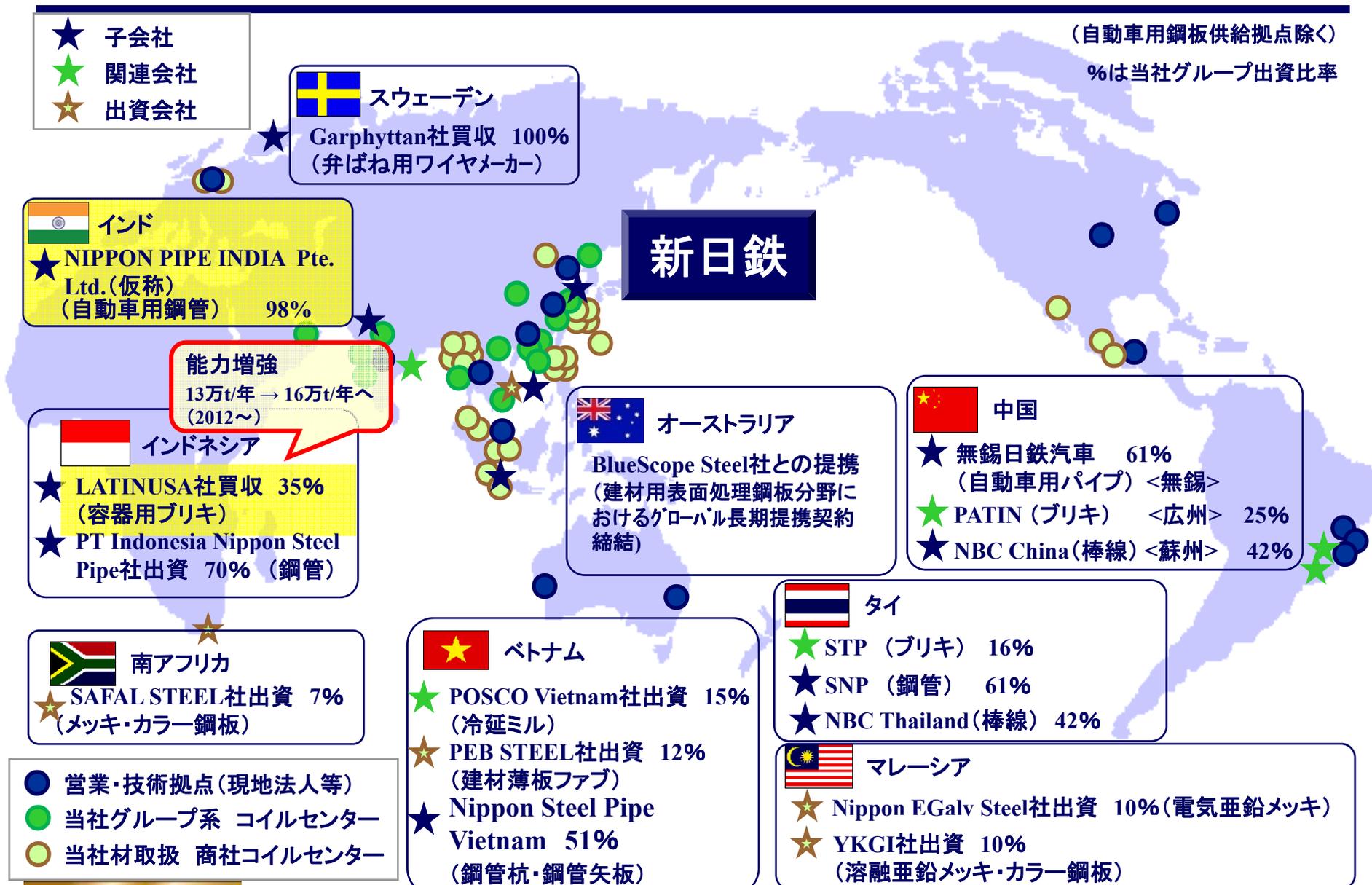


完成車生産台数
(実績・予測)万台



(出所: 各種公表情報等・当社推定)

2. グローバル戦略(加工・流通拠点)





インド 自動車用鋼管事業の展開

<2010年10月19日リリース>

- 急速に経済成長を続けるインドの自動車用鋼管需要を確実に捕捉するため、インドで新たに自動車用鋼管事業を展開。自動二輪・四輪用電縫鋼管の製造・販売体制を構築。
- タイ/SNPで確立した、素材・造管から伸管・熱処理・部品加工までの『一貫製造モデル』をインドにおいても展開し、現地での需要を確実に捕捉し、利益成長を図る。

会社名：NIPPON PIPE INDIA Pte. Ltd.
(仮称)

所在地：インド・ラジャスタン州

資本金：約14億円

出資構成：SNP 98%、トシダ工業 2%

事業内容：自動二輪・四輪向機械構造用鋼管

投資額：約30億円

生産開始：2012年～ 切断・熱処理

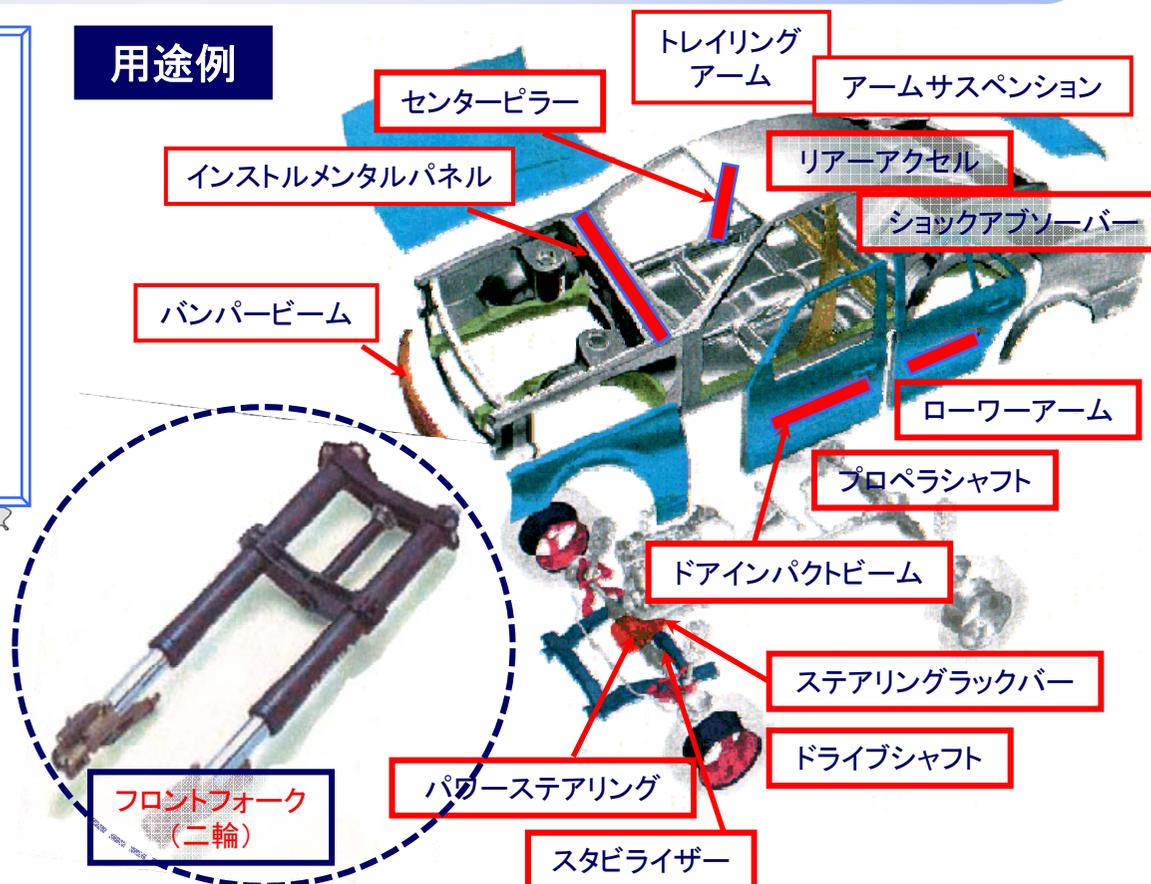
2014年～ 造管以降一貫製造体制

生産能力：2012年～ 約800t/月

2014年～ 約2,000t/月



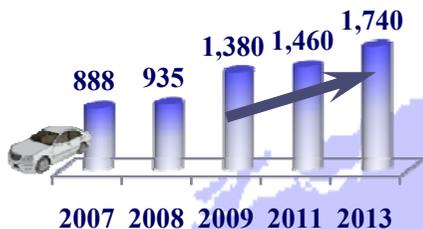
用途例



3. 『自動車用鋼管一貫製造モデル』供給体制

自動車用鋼管一貫製造モデル

— 造管～伸管～加工 —



タイ/SNPを起点に展開する
高精度・高品質の自動車用鋼管
の安定的供給体制の整備

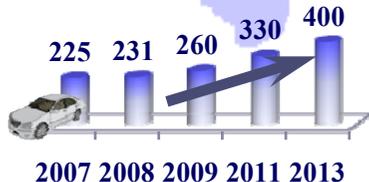
新日鉄

中国
無錫日鉄汽車 61%

2インチ電縫鋼管ライン稼働(2011年～)

インド 98%
NIPPON PIPE INDIA
Pte. Ltd.(仮称)

切断・熱処理ライン[1万トン]稼働(2012年～)
造管以降一貫製造体制[2.4万トン](2014年～)



タイ
SNP 61%

自動二輪・四輪向
機械構造用鋼管[6.6万トン]



インドネシア
INP 70%

自動二輪・四輪向
機械構造用鋼管[1.4万トン]

完成車生産台数
(実績・予測)万台

4. 当社グループの原料対策

優良な原料権益の取得・使用ソースの拡大(投資先からの調達比率アップ)

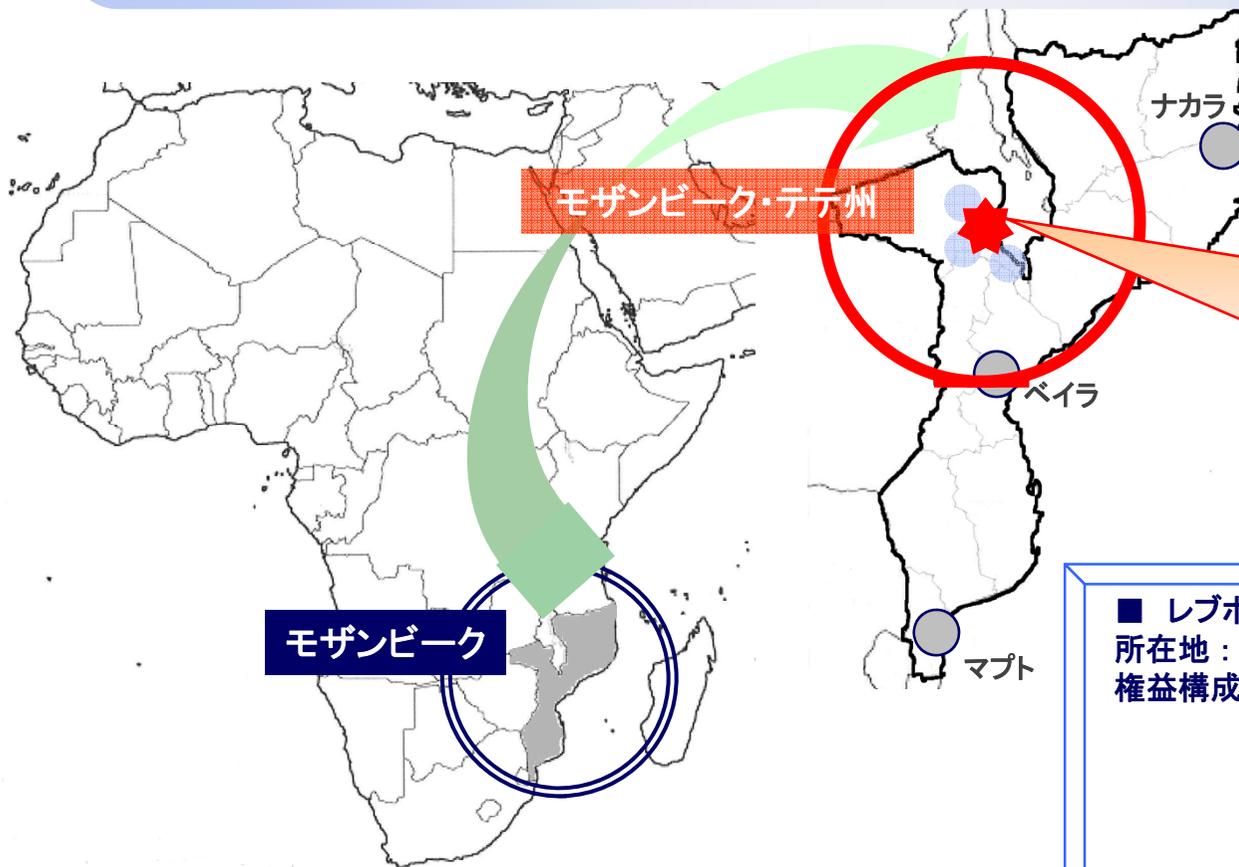




モザンビーク未開発原料炭鉱区開発プロジェクトの推進

<2010年10月27日リリース>

- モザンビークの未開発原料炭開発プロジェクト「レブポープロジェクト」のうち、23.3%（日鐵商事含み 33.3%）分の権益を取得。今後、同プロジェクトの本格開発に向けた事業化調査を推進。
- レブポー鉱区には、露天掘りで採掘可能な優良強粘結炭が大量に賦存することが確認されており、原料炭寡占化が進む中、原料炭安定調達基盤の一層の強化を目指す。



【開発規模】

原料炭5百万t/年体制

【開発スケジュール】

2011年12月 企業化調査完了
 2014～15年 出炭開始

■ レブポープロジェクト

所在地：モザンビーク・テテ州

権益構成：豪州資源会社 Talbot Group 58.9%

Nippon Steel Australia Pty Ltd 23.3%

（新日鉄子会社）

日鐵商事 10.0%

POSCO 7.8%

5. 製鉄グループ会社の主要取組み【新商品開発】

新日鉄マテリアルズ株式会社

新日鉄マテリアルズ

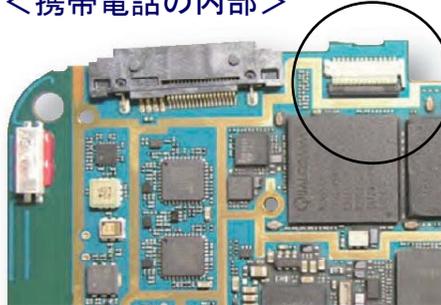
<2010年9月21日リリース>

金ワイヤに対し同等性能で大幅にコストダウン可能な 新型銅ボンディングワイヤ<EX1>
 ~パラジウム被覆により、銅ワイヤの短所を克服~

<携帯電話の内部>

<新日本製鉄(株)先端技術研究所にて開発され、新日鉄マテリアルズ(株)の連結子会社の(株)日鉄マイクロメタルにて事業化>

<内部配線の例>



電極パッド <ICパッケージ>



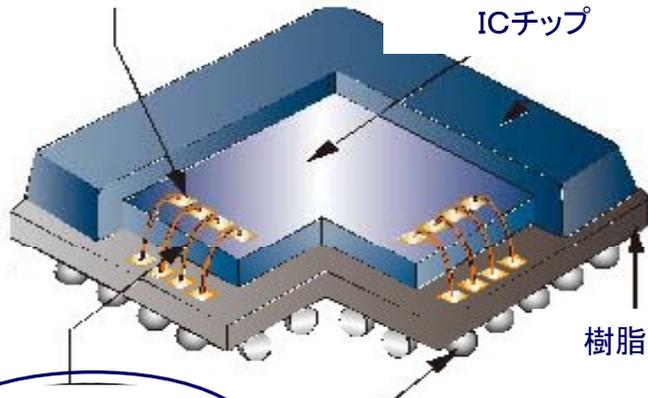
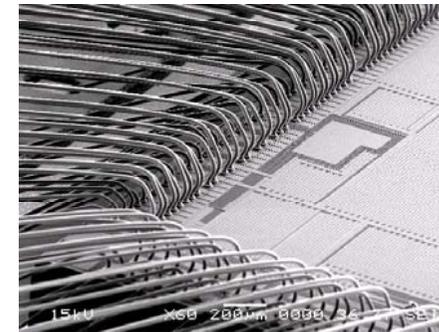
金ワイヤ



EXワイヤ



ベア銅ワイヤ



ICチップ

樹脂基盤

ボンディングワイヤ
(内部接続)

半田ボール
(外部接続)

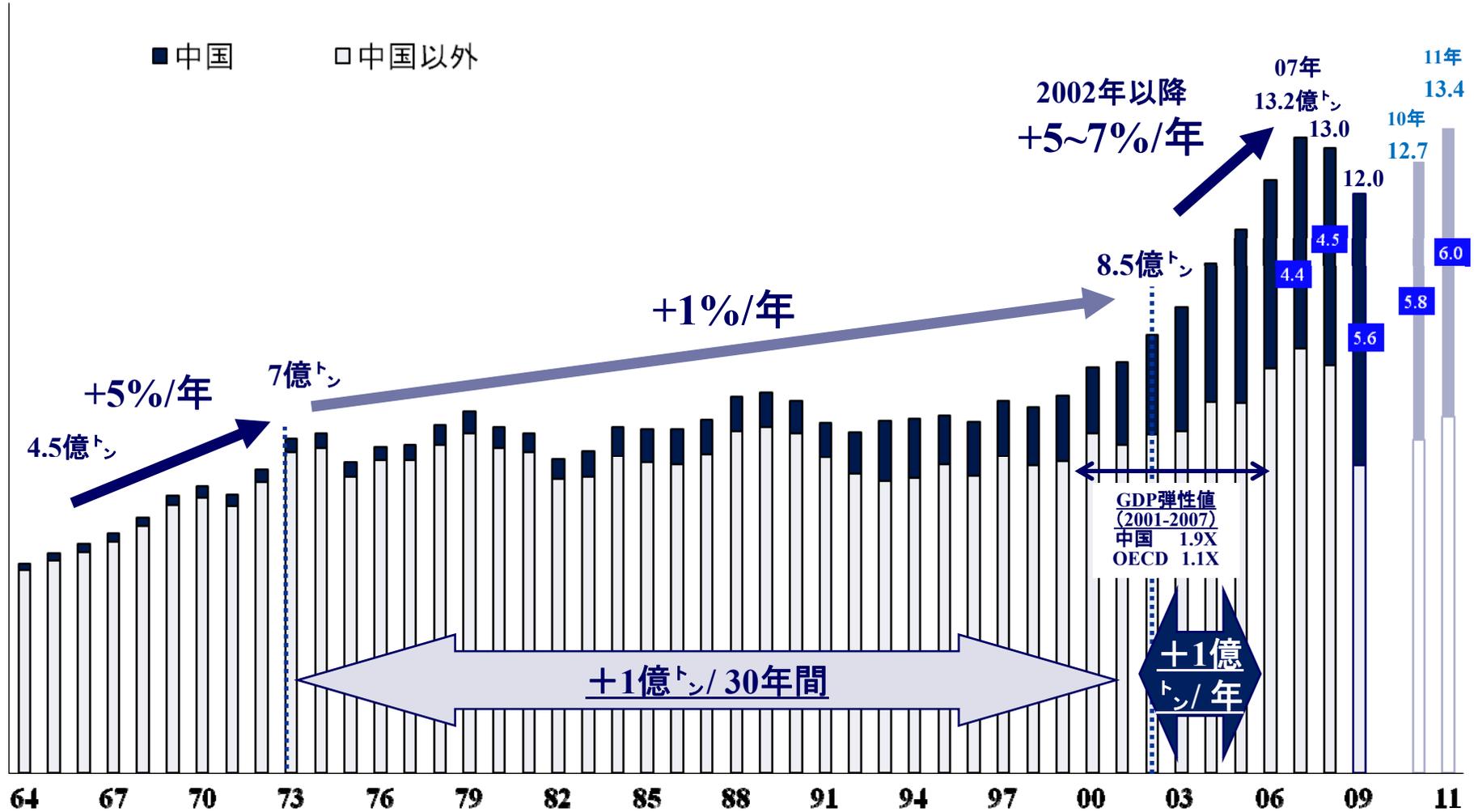
	生産性	信頼性	適用範囲	価格
金ワイヤ	◎	◎	◎	△
EXワイヤ	○~◎	○~◎	○	○
ベア銅ワイヤ	△	△~○	△	◎

4. ご参考

世界の鉄鋼需要推移(粗鋼見掛消費)

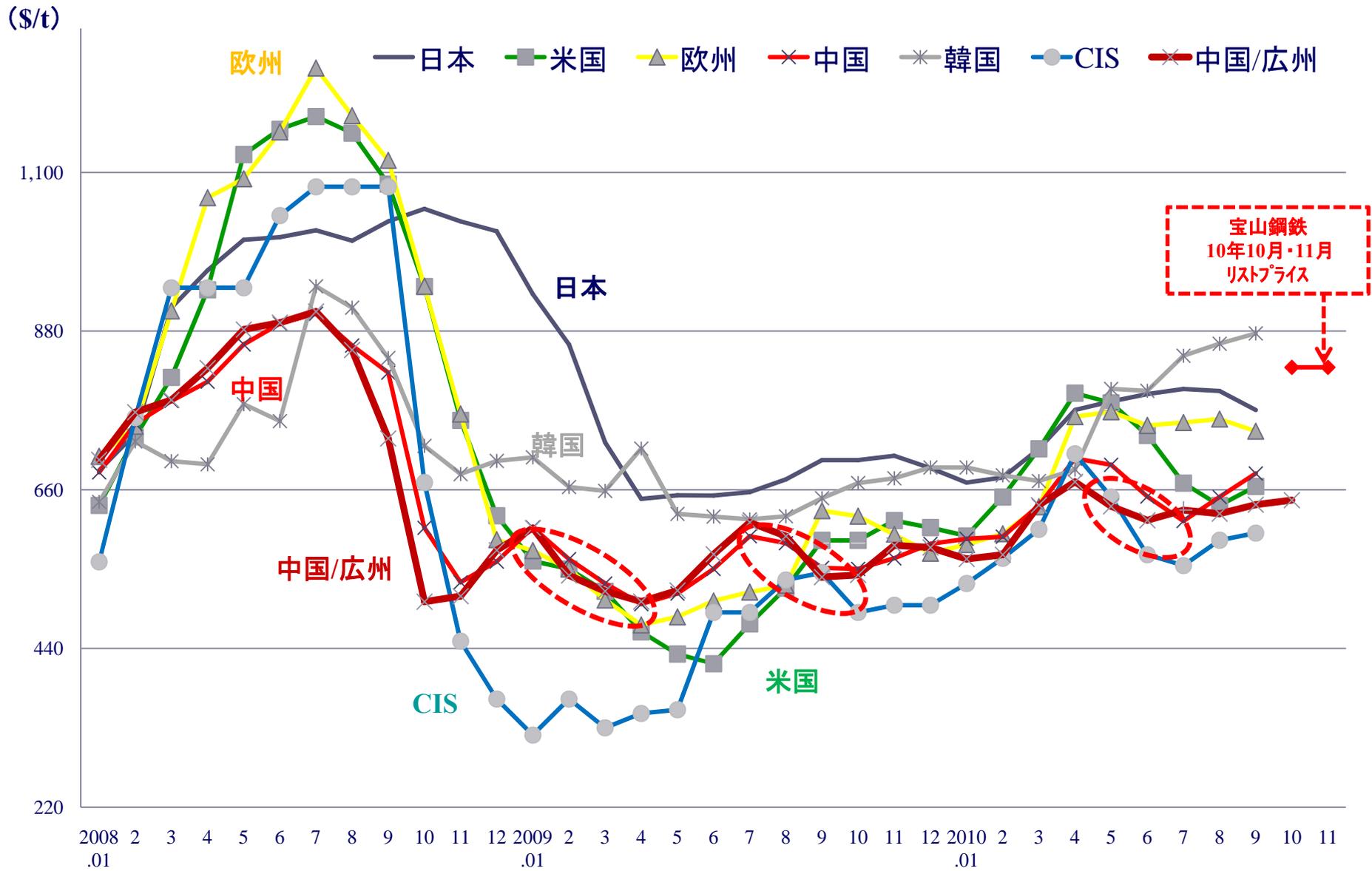
世界合計 <2007年> 13.2億トン → <08年実績> 13.0億トン → <09年実績> 12.0億トン → <10年予測> 12.7億トン → <11年予測> 13.4億トン

(WSA 10年10月発表、10年・11年は鋼材見掛消費(10年10月発表))



(出所: world steel association)

世界各国ホットコイル市況推移



世界の経済成長率推移

<2010年10月6日IMF改定値>

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010見通し			2011見通し	
								前回 (7.8)	内,4Q		内,4Q	
世界合計	3.6	4.9	4.4	5.1	5.2	3.0	-0.6	4.6	4.3	4.8	4.4	4.2
先進諸国	1.9	3.2	2.6	3.0	2.7	0.5	-3.2	2.6	2.4	2.7	2.5	2.2
米国	2.5	3.6	3.1	2.8	2.1	0.4	-2.4	3.3	2.2	2.6	2.7	2.3
欧州	0.8	2.1	1.6	2.8	2.7	0.6	-4.1	1.0	1.9	1.7	1.4	1.5
日本	1.4	2.7	1.9	2.4	2.3	-1.2	-5.2	2.4	1.9	2.8	2.1	1.5
新興諸国	6.3	7.5	7.1	7.9	8.3	6.1	2.4	6.8	7.0	7.1	7.0	6.4
中国	10.0	10.1	10.4	11.6	13.0	9.6	8.7	10.5	9.9	10.5	9.6	9.6
インド	6.9	7.9	9.1	9.8	9.4	7.3	5.7	9.4	10.3	9.7	7.9	8.4
ASEAN5	* 5.8	6.1	5.5	5.7	6.3	4.7	1.7	6.4	5.0	6.6	6.8	5.4
ロシア	7.3	7.2	6.4	7.4	8.1	5.6	-7.9	4.3	3.2	4.0	5.0	4.3
ブラジル	1.1	5.7	3.2	3.8	5.7	5.1	-0.2	7.1	5.6	7.5	4.5	4.1

*ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ヴェトナム

(出所: IMF 世界経済見通し)

世界粗鋼生産量

2010年9月 世界粗鋼生産・前年同月比 +0.9%、中国粗鋼生産・前年同月比 -5.9%

(単位:百万t)

	2008暦年	2009暦年										2010暦年 1-9月 (9ヶ月間)	年率換算
			1-3月	4月	5月	6月	4-6月	7月	8月	9月	7-9月		
世界 合計	1,329.0	1,224.0	343.9	121.7	124.2	118.8	364.6	114.8	112.9	111.7	339.4	1,045.9	1,394.6
日本	118.7	87.5	26.5	9.0	9.7	9.4	28.1	9.2	8.9	9.2	27.4	81.9	109.2
米国	91.4	58.2	19.6	6.8	7.2	7.2	21.2	6.7	6.9	6.6	20.2	60.9	81.2
欧州	198.0	138.8	42.5	15.4	16.3	15.3	47.0	13.9	12.1	14.3	40.4	130.0	173.3
ロシア	68.5	60.0	15.7	5.6	5.8	5.4	16.9	5.6	5.6	5.6	16.8	49.5	66.0
ブラジル	33.7	26.5	8.0	2.7	2.9	2.9	8.4	3.0	2.9	2.7	8.5	24.8	33.1
インド	57.8	62.8	16.1	5.4	5.5	5.4	16.2	5.8	5.7	5.6	17.1	50.1	66.8
中国	500.3	567.8	157.9	55.4	56.1	53.8	165.3	51.7	51.6	47.9	151.3	474.5	632.7

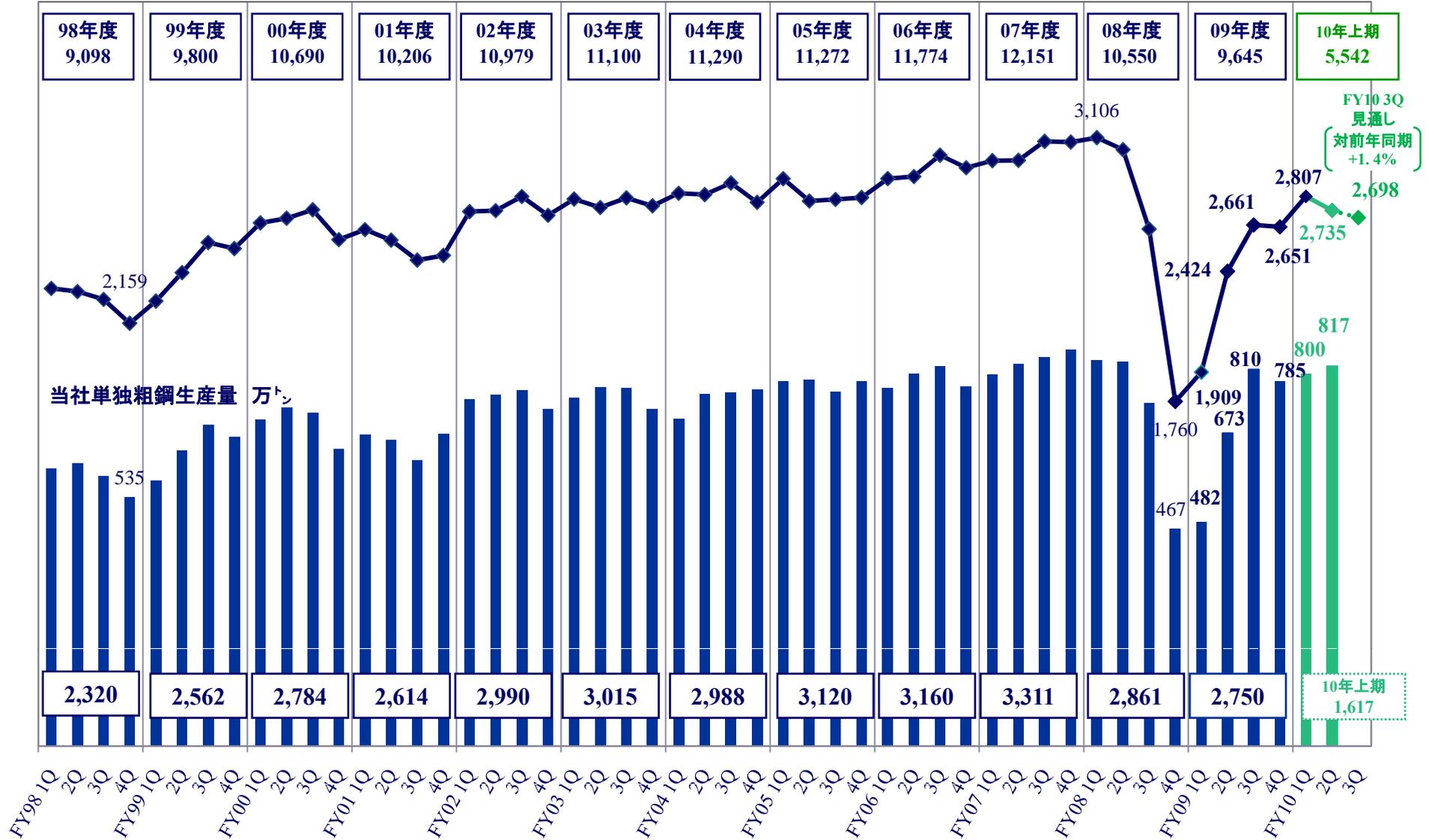
対前年同月比生産減

(出所: World Steel Association)

全国・当社粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量 万ト

(2010/9/29 経済産業省発表)



製鉄事業諸元前提

	09年度						10年度		
	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年度実績	1Q	2Q	上期
全国粗鋼生産量 万トン	2,424	4,333	2,661	2,651	5,312	9,645	2,807	2,735	5,542
当社出銑量 ^{*1} 万トン	635	1,119	770	768	1,538	2,657	777	814	1,592
連結粗鋼生産量 万トン 〈参考〉当社単独	738 <673>	1,275 <1,155>	872 <810>	845 <785>	1,717 <1,595>	2,992 <2,750>	863 <800>	872 <817>	1,735 <1,617>
当社鋼材出荷量 万トン	674	1,147	760	802	1,562	2,709	776	784	1,559
当社販売価格 千円/トン	72.7	79.2	72.5	72.7	72.6	75.4	79.1	86.4	82.8
鋼材輸出比率 (金額ベース) %	38.9	36.2	38.8	41.3	40.1	38.4	42.5	38.7	40.5
為替レート ¥/\$	95	96	89	90	90	92	93	86	90

*1 北海製鉄の出銑量含む

主要需要分野の鋼材消費推移

	09年度						10年度		
	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年度実績	1Q	2Q	上期
国内鋼材消費 万トン	1,460	2,841	1,506	1,514	3,020	5,861	1,501	1,541	3,042
製造業比率	65.3%	63.4%	67.3%	67.5%	67.4%	65.5%	68.0%	67.2%	67.6%
普通鋼鋼材消費 万トン	1,159	2,264	1,202	1,219	2,421	4,685	1,191	1,236	2,427
建設 万トン	473	964	472	461	933	1,897	450	473	923
製造業 万トン	686	1,300	730	758	1,488	2,788	741	763	1,504
(うち造船) 万トン	151	304	149	148	297	601	147	146	293
(うち自動車) 万トン	253	458	280	287	567	1,025	276	285	561
特殊鋼鋼材消費 万トン	301	577	304	295	599	1,176	310	305	615

主要需要分野の活動水準推移

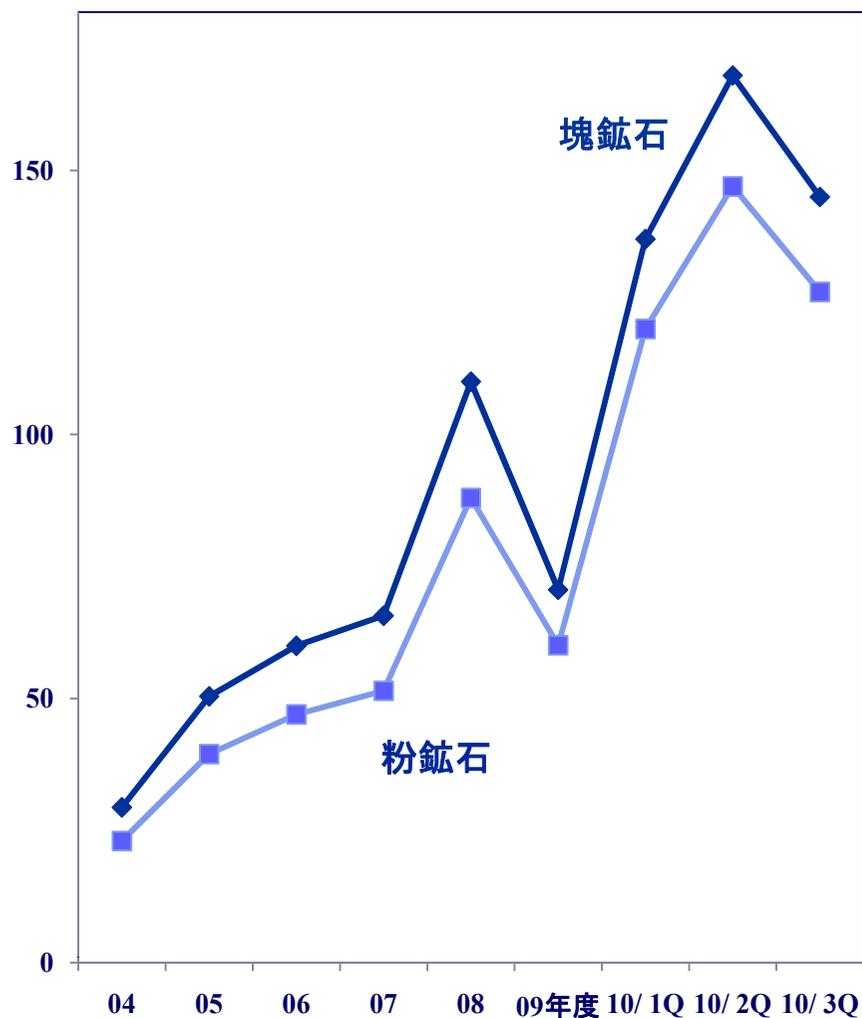
			09年度					10年度			
			2Q	上期	3Q	4Q	下期	年度実績	1Q	2Q	上期
建築	住宅着工戸数	万戸	18	38	20	19	39	77	20	22	42
土木	非住宅着工	万㎡	1,027	2,046	1,008	1,084	2,092	4,138	1,072	1,118	2,190
自動車	完成車生産台数	万台	215	386	247	254	501	887	230	246	476
	完成車輸出台数	万台	101	177	117	115	232	409	118	119	237
	KDセット輸出	万セット	197	349	227	203	430	779	206	214	420
産業機械	大中型ショベル	千台	4	7	8	11	19	26	12	14	26
	金属工作機械	千トン	36	71	43	59	102	173	65	68	133
	フォークリフト	千台	19	33	20	24	44	77	25	29	54
造船	新造船起工 (当社推定)	万GT	455	910	445	445	890	1,800	445	445	890

鉄鉱石・原料炭の国際価格推移

鉄鉱石

(US\$/dmt)

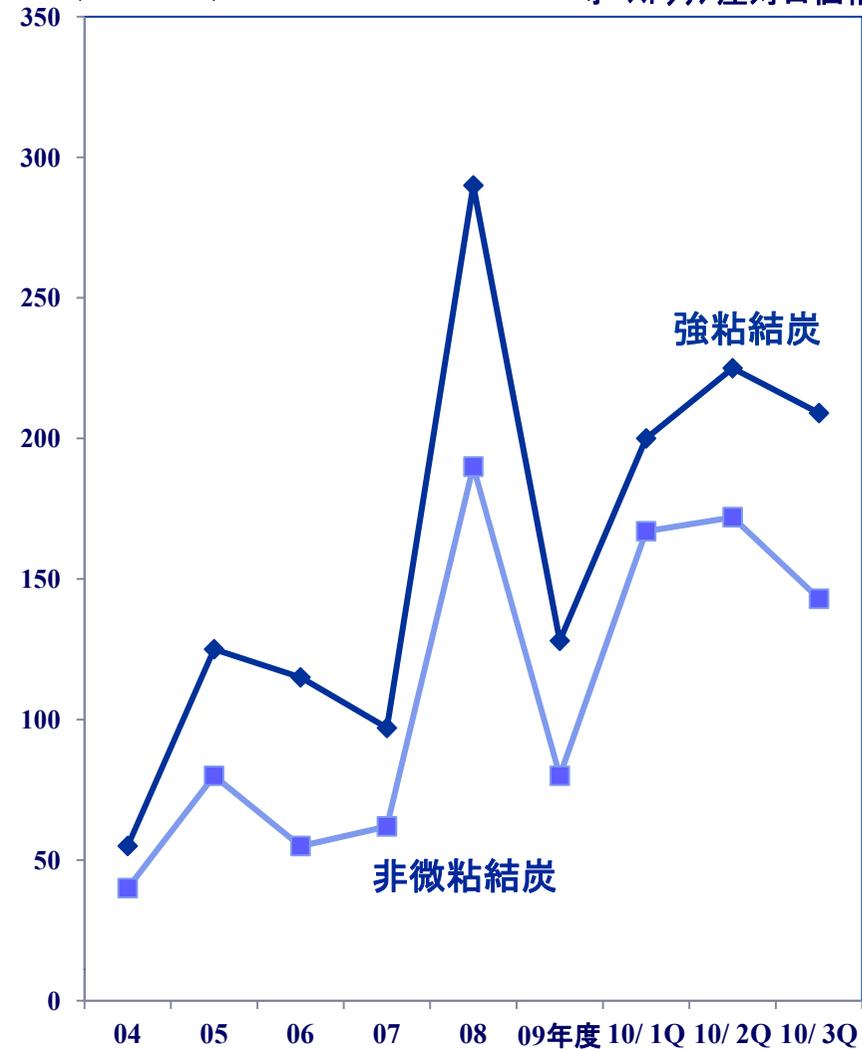
豪州ヘマタイト鉱対日価格



原料炭

(US\$/wmt)

オーストラリア産対日価格



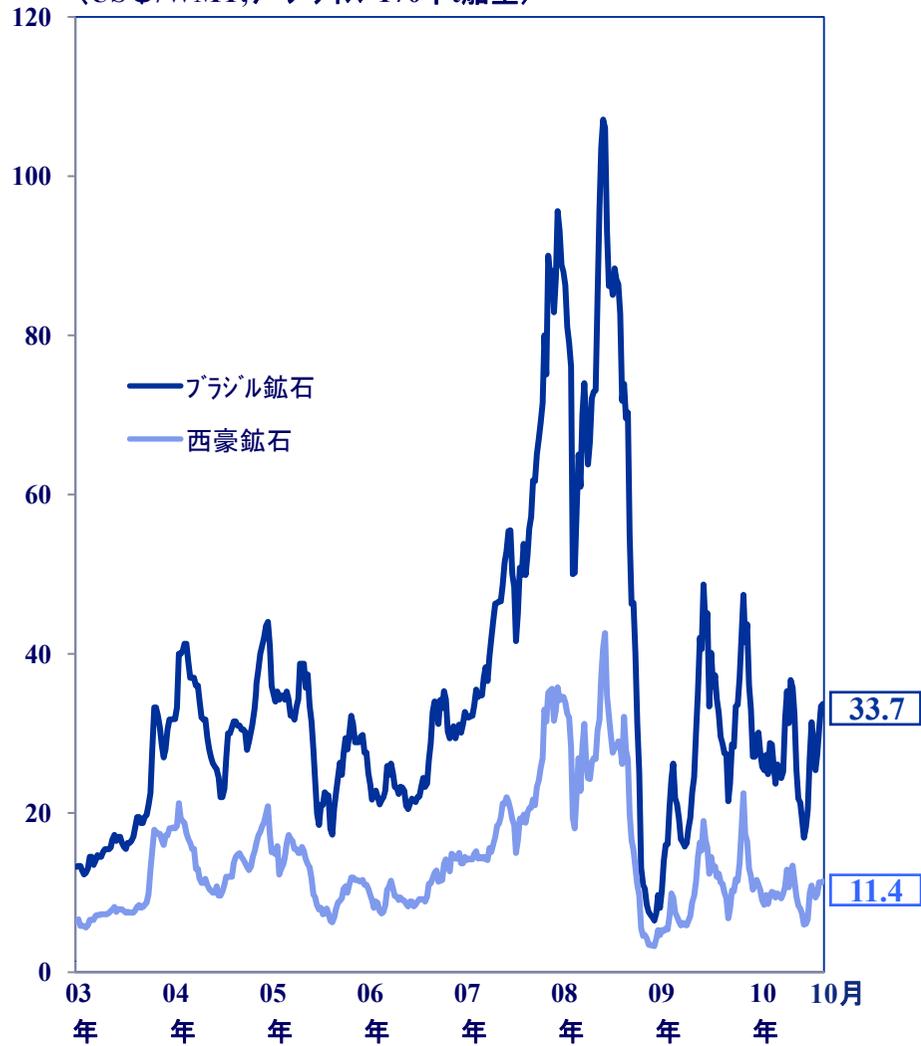
原料市況 <原油・スクラップ>



原料市況 <フレート・型鉄>

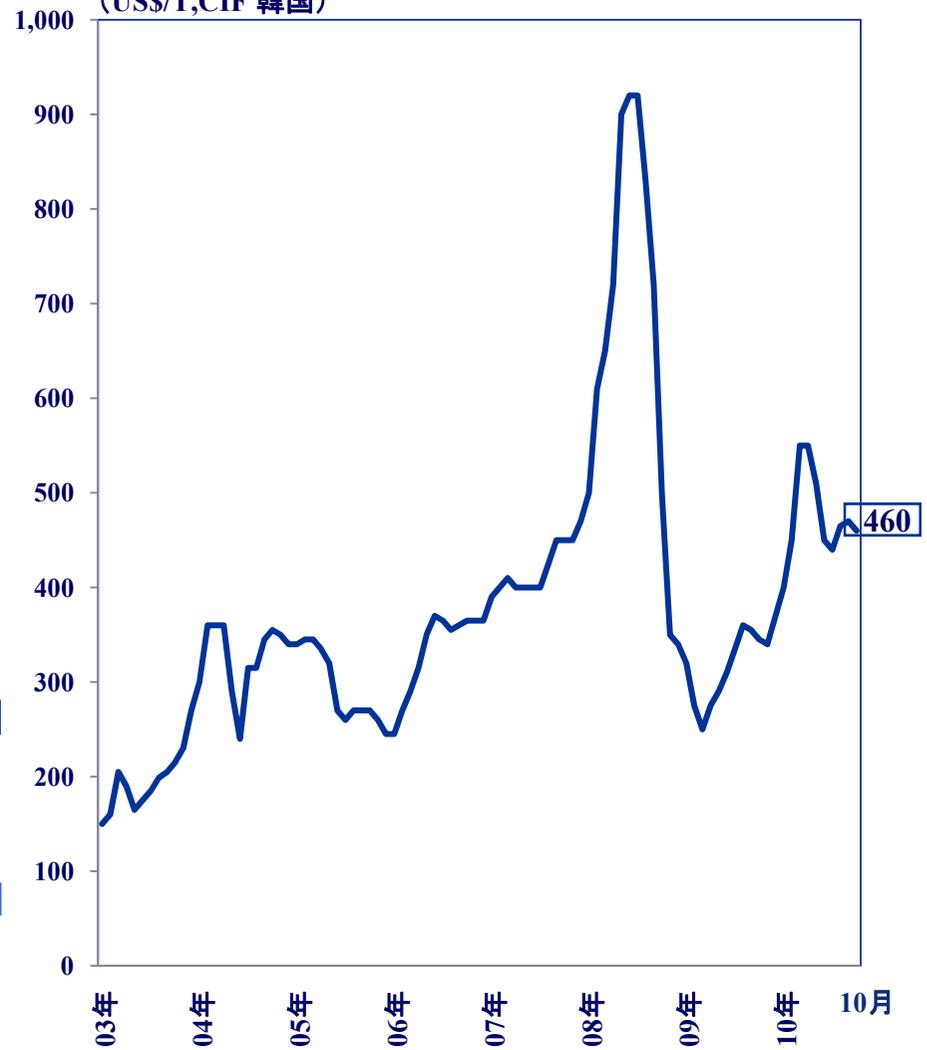
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)



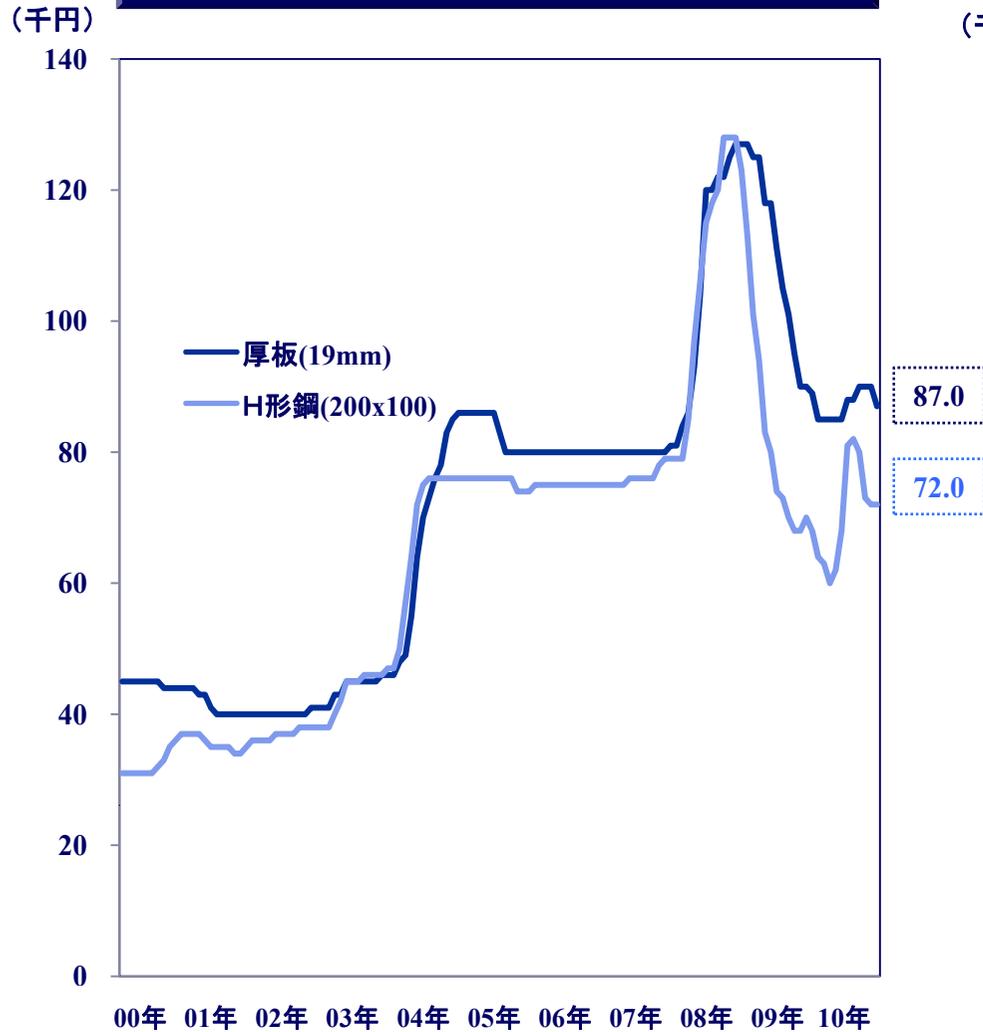
型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)

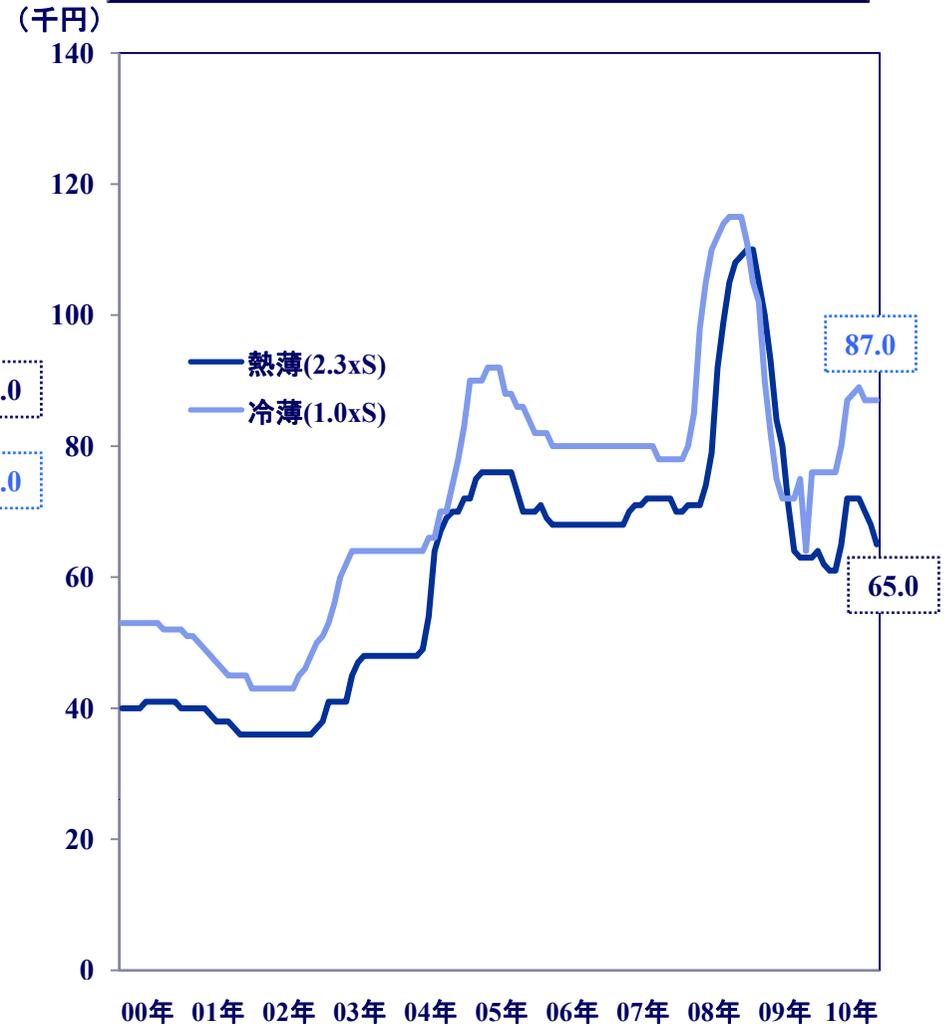


国内鋼材市況（店頭価格）

厚板・H形鋼

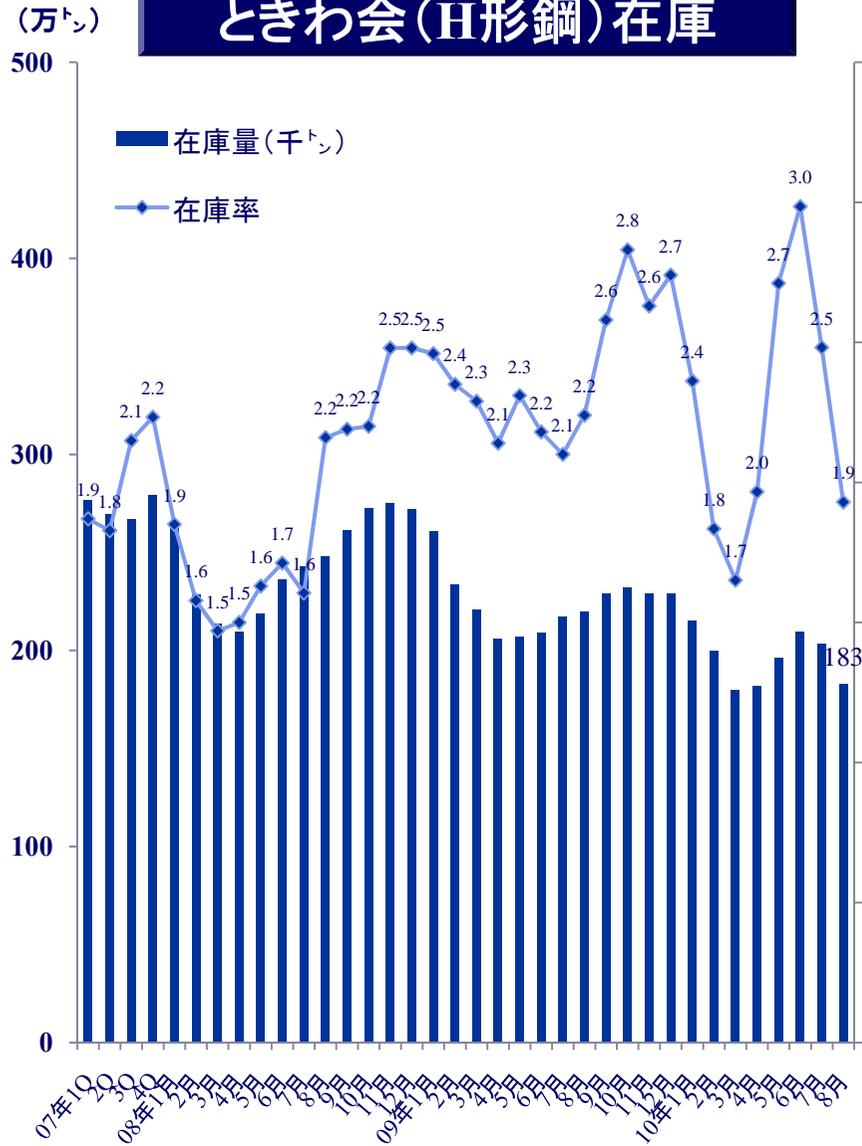


熱延薄板・冷延薄板

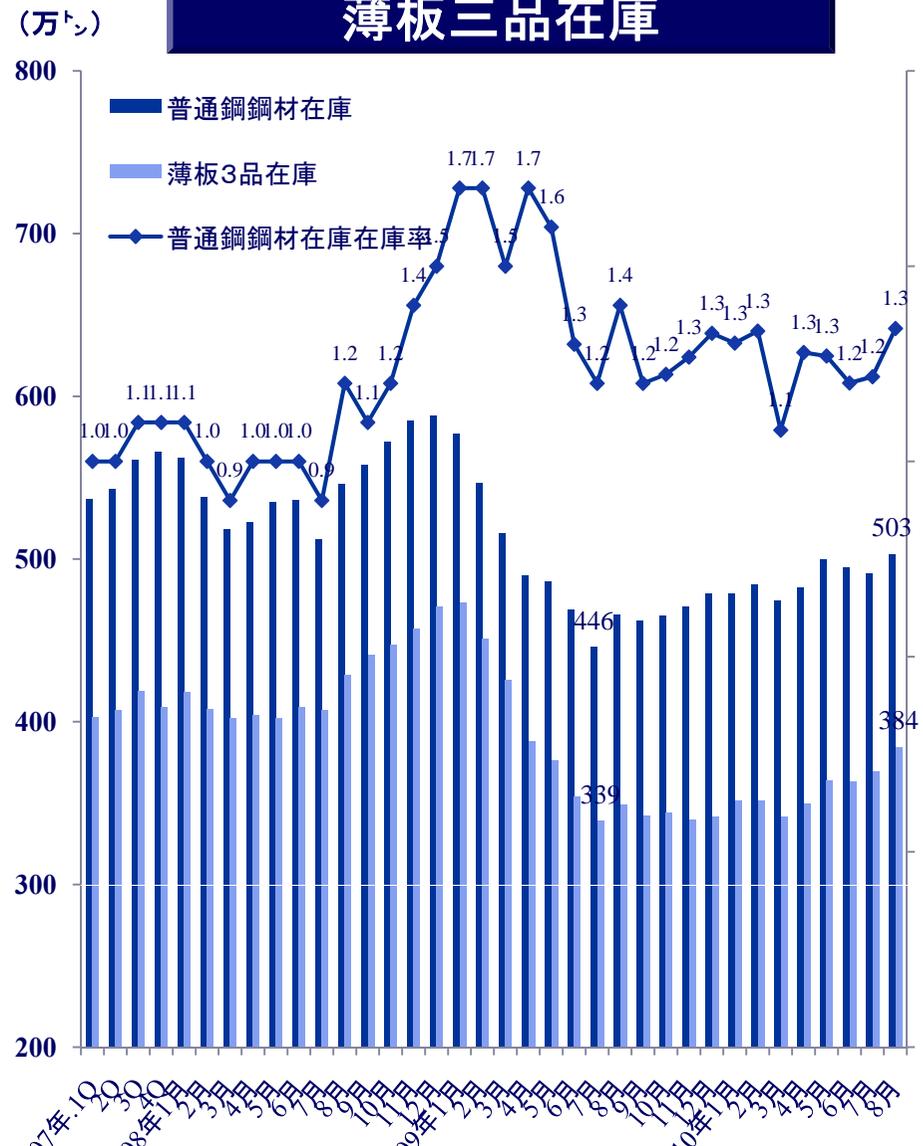


国内鋼材在庫推移

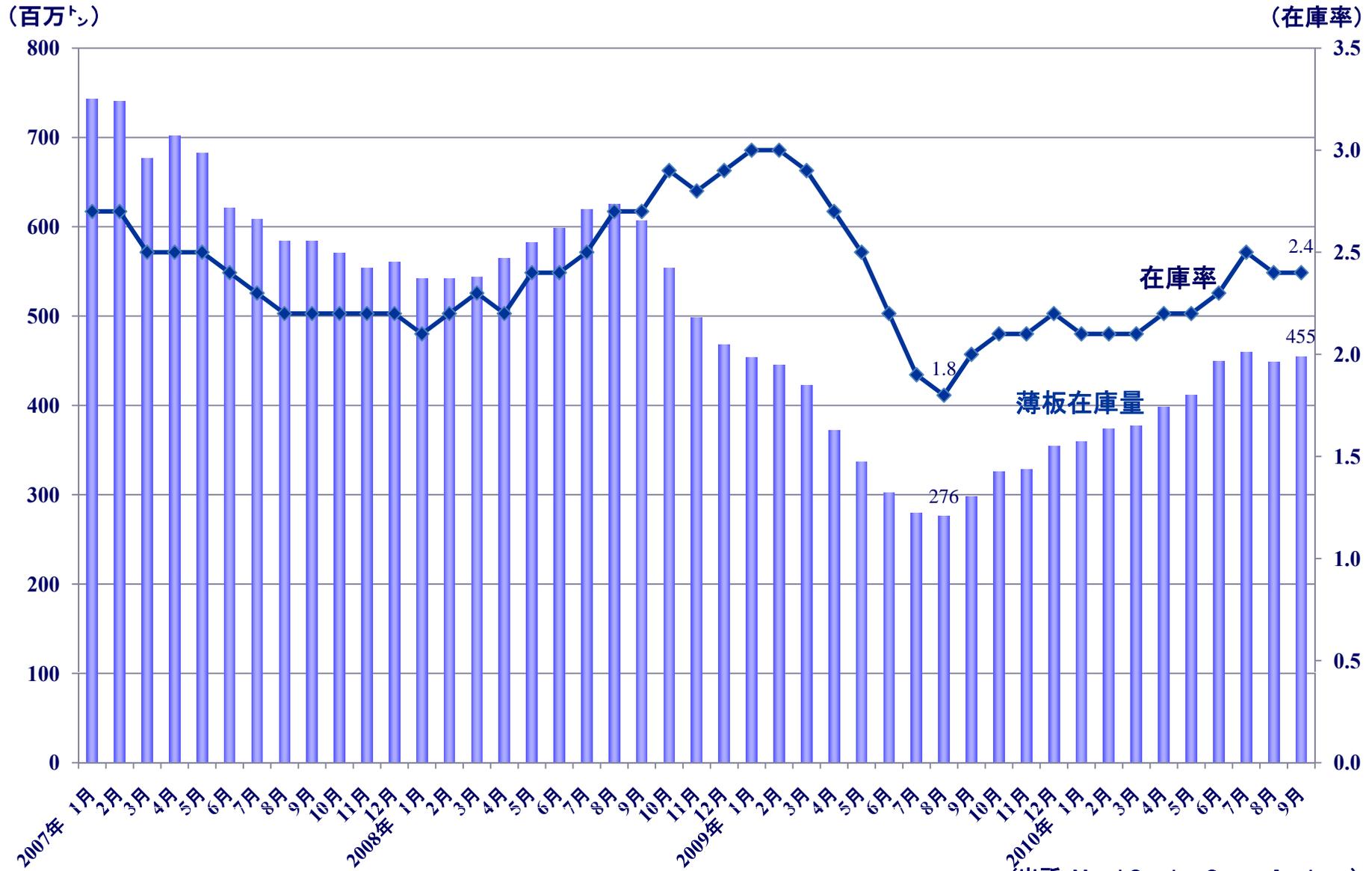
ときわ会(H形鋼)在庫



薄板三品在庫



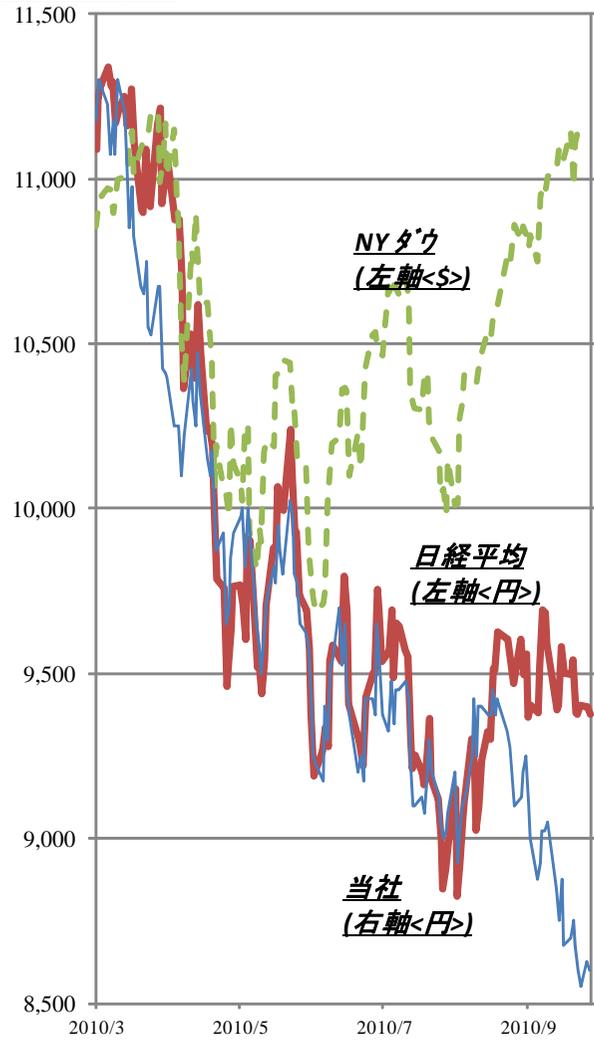
米国鋼材在庫量推移



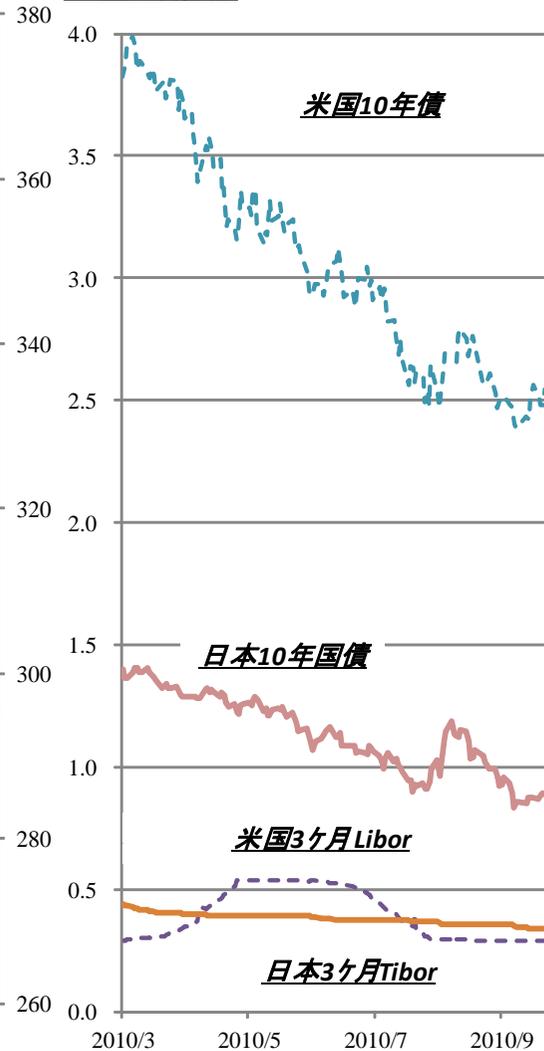
(出所: Metal Service Center Institute)

株価・金利・為替 推移

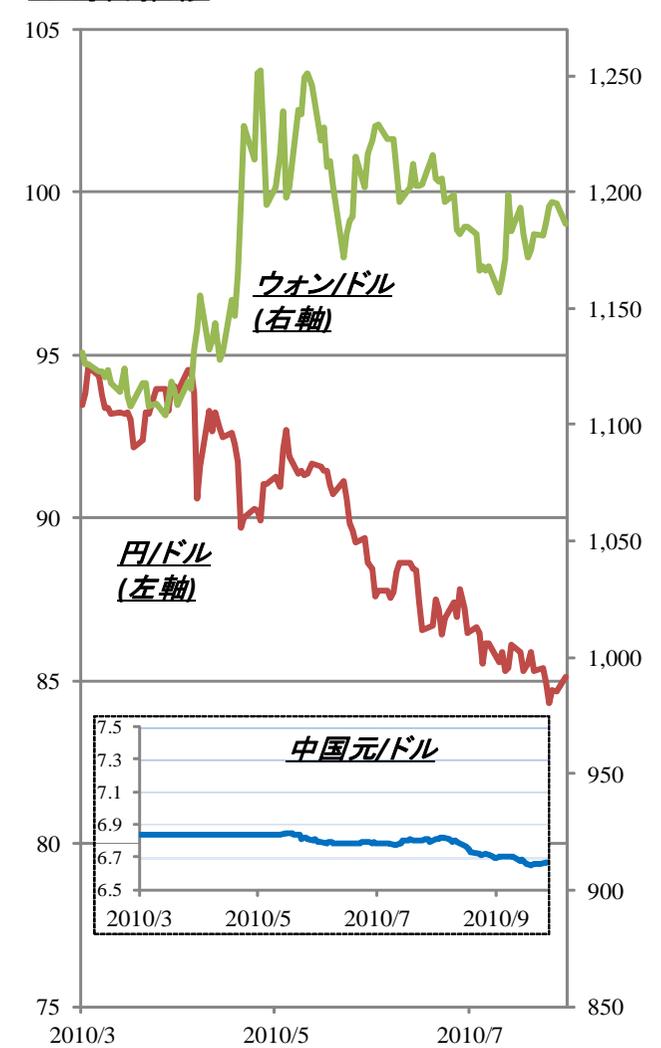
1. 株価推移



2. 金利推移



3. 為替推移



当社と日経平均株価推移(2006年4月起点指数グラフ)



先進のその先へ、新日鉄

www.nsc.co.jp

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。